

陽だまり

29

Vol.

2022.3

CONTENTS

ごあいさつ
理事長 岩間 脩 2

腎臓病療養指導室 3

地域連携相談部のご紹介 4

入院セットのご案内 6

リハビリテーション科のご紹介 8

「見て-な」のご紹介 9

地域リハビリテーション
支援センターのご紹介 10

自動車運転再開支援について 12



公益財団法人
丹後中央病院 広報誌

〒627-8555
京都府京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772 (62) 0791
<http://www.tangohp.com>



ごあいさつ

公益財団法人丹後中央病院

理事長 岩間 脩

早春の候、皆様におかれましては益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当公益財団法人丹後中央病院には格別のご理解とご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、当院にとって最大級の功労者であります西島理事長が、昨年末をもって退任されました。その後任といたしまして、令和4年1月4日の理事会において第14代の理事長に選出されましたのでご挨拶を申し上げます。その器ではないことは百も承知しており且つ医業、医療には無知ではございますが、8年間の評議員、6年間の理事そして昨年からの副理事長としてその役職をけがした経験を基に、藤田病院長を先頭に、当院の基本理念であります「安心・信頼・良質の医療」そして常に患者さんに寄り添った医療を提供すべく、病院運営を進めてまいります。

ここ丹後の地も、第6波のコロナ禍がピークアウトしたとはいえ、日々感染者の情報が報道され、未だ終息には程遠い状況が続いております。

そうしたなか、当院も大変厳しい医療・医業環境ではございますが、当地の地域医療に微力ながら貢献できるよう役職員一丸となった病院運営並びに経営を心掛けてまいりますので、今後とも皆様のご理解ご協力のほど心よりお願い申し上げます。

THE ⑧ GOLDEN RULES TO REDUCE THE RISK

腎臓を守る 8 か条



慢性腎臓病は悪化するまで症状がなく、悪化してしまうと、あなたの生活に大きな影響をおよぼす病気です。しかし、慢性腎臓病が悪化することを防ぐことができる、いくつかの簡単な方法があります。

① 運動(活動)して体調を保ちましょう。



② 健康的な食事をしましょう。



③ 血糖値を確認し、適切な値を保ちましょう。



④ 血圧を確認し、適切な値を保ちましょう。



⑤ 適切に水分を摂取しましょう。



⑥ 禁煙しましょう。



⑦ 市販の解熱・鎮痛薬を常用するのはやめましょう。



⑧ 以下にあてはまる方は腎機能をチェックしましょう。

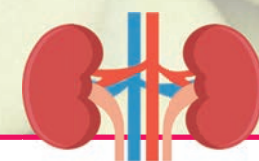
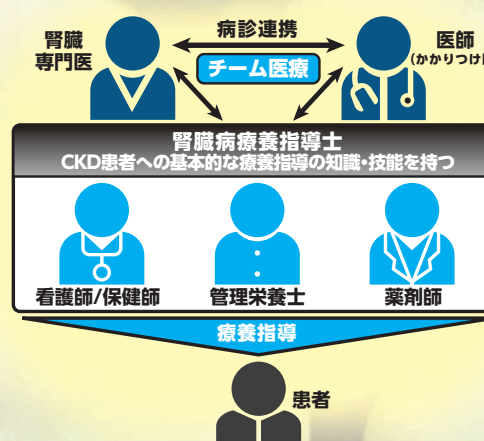


●糖尿病の方 ● 高血圧の方 ● 肥満の方

CKD（慢性腎臓病）療養のご相談は CKDE へ 当施設には腎臓病療養指導士（CKDE）が在籍しております

腎臓病療養指導士(CKDE)とは

4学会（日本腎臓学会、日本腎不全看護学会、日本栄養士会、日本腎臓病薬物療法学会）が認定する腎臓病療養指導のエキスパートです。



食事療法を中心に、腎臓病療養指導士（管理栄養士）が療養についての相談に乗らせていただく、個別栄養指導を実施しています。
栄養指導のご依頼は主治医にお声かけください。

地域連携相談部のご紹介

当院では、高度医療・専門医療・長期療養を担う医療機関をはじめ、地域の開業医・保健・福祉関係機関等の皆様との連携を図り、患者様や地域住民の皆様に対し、より良い医療を提供させていただくことを目的に地域連携室を設置しています。

平成19年4月、私と事務員の2名で稼働し始めた地域連携室は、その後当院機能の変化と共に、医療福祉相談係・検診担当・入退院支援係を統合しました。令和元年8月には、医師2名を含めた13名で構成する「地域連携相談部」として、専門的且つ幅広い領域から患者様のニーズにお応えできる部署へと発展することができました。

今後もより多くの皆様との円滑な連携ができるよう心掛けて参りますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

地域連携相談部
部長 藤居 一洋

検診担当より

私たちの「平均寿命」は一貫して延び続けており、「人生100年」に届く日もそう遠くないと言われる今日ですが、一方では介護や他人に頼らず自立して健康に過ごせる期間として、「健康寿命」という言葉が注目されています。

検診担当では、令和元年8月の部署統合以来、地域住民の皆様をはじめ、近隣企業等との係りを通じ、より積極的にこの「健康寿命」の延伸に貢献できるよう取り組んできました。

まず初めに取り組んだのは、「生活習慣病予防健診」の導入でした。これにより多くの健康保険加入者の皆様に対する費用負担の軽減を図ることが可能となりました。

次に取り組んだのは広報活動でした。当院保健予防事業について、より多くの皆様に関心をもっていただけるよう、院内外の情報発信の在り方について大幅な見直しを図ると共に、京都烏丸御池にある「足立病院医師」による婦人科検診について積極的にご紹介させていただきました。

また、今年度については、画像診断の精度向上を図るため、京都大学医学部附属病院所属の画像診断専門医による「遠隔画像診断システム」を導入しました。

その他、新規事業として、特定健診、特定保健指導の開始・内視鏡検査枠の拡大・各種検査料金に対する見直し等々、約2年をかけてさまざまな取り組みを行ってまいりました。その結果、COVID-19 感染拡大という非常に厳しい逆風の中ではありますが、令和3年7月末の時点で約250人の新規受検者の方々に当院を選んでいただくことができました。

人間ドック・健康診断は、病気の早期発見・早期治療には欠かせません。丹後中央病院検診担当としましても、「あなたと家族の笑顔のために」引き続き皆様のご要望に広くお応えできるよう取り組んでいきたいと考えています。

藤居 一洋

参考資料

	平均寿命	健康寿命	差
男性	80.98 歳	72.14 歳	8.84 年
女性	87.14 歳	74.79 歳	12.35 年

何らかの支援を要する期間

※平均寿命：厚生労働省「平成28年簡易生命表」
※健康寿命：厚生労働省「平成28年第11回健康日本21推進専門委員会」資料より。



スタッフの紹介

【地域連携相談部】

耳鼻咽喉科 副院長 田中 寛（地域連携室長）
循環器内科部長 革嶋 恒明（人間ドック健診専門医・指導医）
部長 藤居（社会福祉士）
室長 日下部（看護師）

◎地域連携係

係長 西村（事務）
久古（事務）

◎医療福祉相談係

係長 川崎（社会福祉士）
中西（社会福祉士）
池部（保健師）

◎入退院支援係

野村（看護師）

◎検診担当

主任 滝本（事務）
主任 谷口（事務）
吉田（事務）
菊地（事務）



令和4年3月16日時点

入退院支援係ができました。

令和2年11月より、在宅療養等への円滑な移行を支援させていただくため、地域連携相談部内に「入退院支援係」が開設されました。

入退院支援係では、入院を予定される患者様に対して、服薬中のお薬、栄養状態、入院に対するご不安等を事前にお伺いし、薬剤師、リハビリ職員、栄養士等の専門職と共有しておくことで、入院後速やかに治療が開始されるよう、主治医、病棟看護師等との調整をさせていただきます。

また、入院後についても、予定入院以外の患者様を含め、治療方針と並行しながら適宜ご家族や在宅療養支援者の方々との相談を通じ、他の医療機関への転院調整や、在宅生活へスムーズに移行できるよう支援させていただきます。

突然の入院、手術、重度後遺症、退院後の生活等、入院に伴って生じるご不安やご不明な点などがございましたら、お気軽に入退院支援係までお尋ね下さい。

丹後中央病院へ入院の患者様へ

入院セットのご案内



入院セットとは、入院の際に患者様のライフスタイルや好みに合わせてご利用いただけるレンタルセットです。ご家族様のお洗濯、買い出しのお手間を軽減致します。快適を追求した合理的なシステムをお試しください。

入院セット 308円／日額(税込)

バスタオル・フェイスタオル・甚平上下・病衣・介護つなぎ

サービス品 入院セットをお申込みの方は必要に応じて消耗品をご利用頂けます

- コップ ●ティッシュ ●シャンプー・リンス ●ボティソープ ●歯ブラシ ●歯磨き粉

【以下の商品は病棟職員にご相談ください】

- お箸、スプーン、フォークセット ●ヘアブラシ ●らくのみ ●ウェットティッシュ ●入れ歯洗浄剤 ●入れ歯ケース ●歯磨きティッシュ ●口腔ケアジェル ●口腔ケアスポンジ ●使い捨て食事用エプロン ●うがい用コップ

※入院セットは2泊3日からご利用頂けます、1泊2日の御利用の方は1泊入院セットをご利用下さい。



下着セット(追加オプション) 275円／日額(税込)

- 肌着・靴下・使い捨て紙パンツ

※追加オプションは、入院セットを申し込んでいる方のみご利用いただけます。

リハビリ着 220円／日額(税込)

リハビリ着上下(長袖)



紙おむつセット 352円／日額(税込)

ユニチャーム製 ライフリーシリーズ

《紙おむつ 対象商品》

- テープタイプ ●パンツタイプ ●尿取りパッドレギュラー ●尿取りパッド夜用 ●おしりふき



一泊入院セット 660円／1泊2日(税込)

《一泊入院 対象商品》

- フェイスタオル ●病衣 ●歯ブラシ ●ポケットティッシュ ●割りばし2膳 ●スプーン

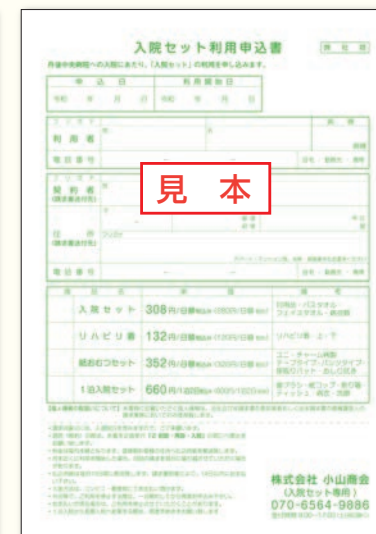
一泊入院から長期入院に切り替わる際は、再度手続きをお願い致します。



各セットは日額制のサービスです。衣類や紙おむつは、入院日や退院日に使用がなくても請求が発生します。

表記の価格・サービス等は令和4年4月1日時点の情報となります。最新の情報とは異なる点が生じることもありますので、あしからずご了承願います。

請求からお支払いについて



■毎月のお支払いとなり、入院費用とは別のお支払いとなります。
(病院窓口ではお支払いはできません)

■請求締めは毎月末締めとなります。直接契約者様宛に郵送致します。(毎月中旬頃に郵送致します)

■入金方法は、コンビニ・郵便局にてお支払い頂けます。

■請求書が到着しましたら月末までにお支払いください。

注意事項

- 開始日から終了日までの全日数分の料金が発生します。
- 当日申込、当日解約のみとなります。予約はできません。
- 配布の有無、使用枚数に関わらず、日額低額制となります。
- 申込日・退院日(終了日)も請求に含まれます。
- 解約の際は、正面窓口「2 初診・再診・入院」で手続きしてください。
- 解約を行わなければ請求が継続しますのでご注意ください。

短期間のご入院の方やご希望に応じてご利用でき、緊急時等にもご対応できます。

ご不明な点等ございましたら下記の小山商会へお問合せください。

ご利用を希望の方は申込用紙をご記入の上、1階正面受付「2 初診・再診・入院」窓口へ提出をお願い致します。

丹後中央病院では入院セットを推奨しております。患者様の任意ではございますが、ご協力の程お願い致します。

家族に迷惑が掛からない

着替えの心配がいらない

入院の準備が楽!



株式会社 小山商会

入院セットお問合せ専用電話番号

PHS 070-6564-9886

【大阪支店】大阪府東大阪市楠根1丁目2-31 TEL.06-6745-1861 FAX.06-6745-6731 《営業時間》9:00~18:00(土・日・祝日除く)

リハビリテーション科の紹介

当院のリハビリテーション科は、一般病棟・外来、回復期リハビリテーション病棟、訪問リハビリに分かれてリハビリテーションを行っています。

回復期リハビリテーション病棟では患者さまに365日の切れ目ないリハビリテーションを提供し、実際の生活場面、生活時間帯に応じた日常生活練習を実施しています。

患者様が再び住み慣れた場所で生活できるように、スタッフ一同頑張っています！

スタッフ数

職種	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	歯科衛生士	リハ助手
人数	47	17	3	2	3

令和3年12月1日現在

リハ科の一部を紹介



理学療法



作業療法



言語聴覚療法



物理療法

訪問リハビリテーション事業所

令和2年より、自宅での生活維持・向上を目的に訪問リハビリを始めました。

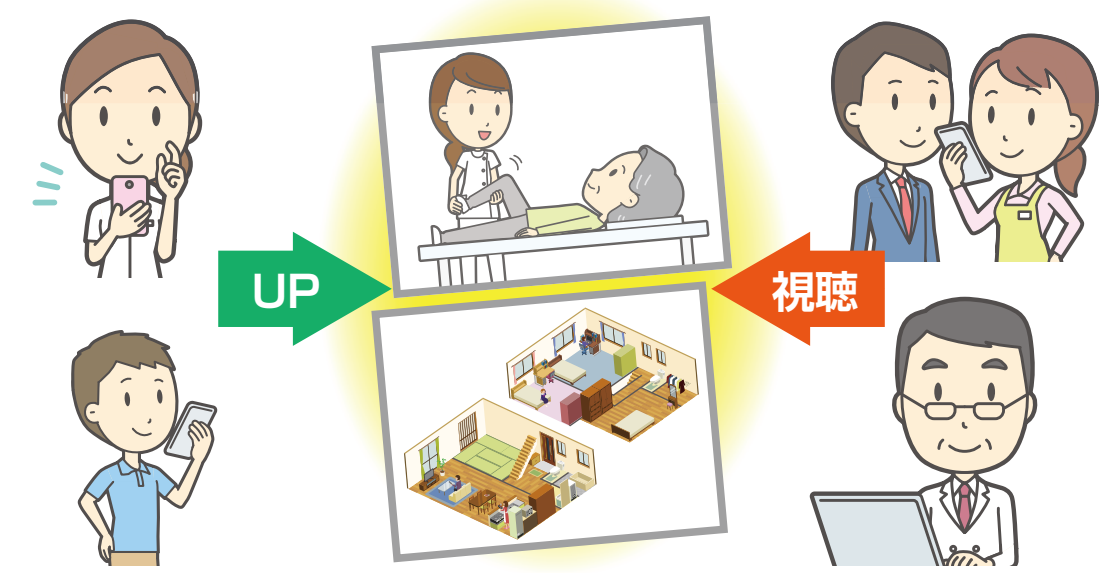
介護認定を受けておられ興味があるの方は担当のケアマネージャー様にご相談ください。



見て～な～の～紹介

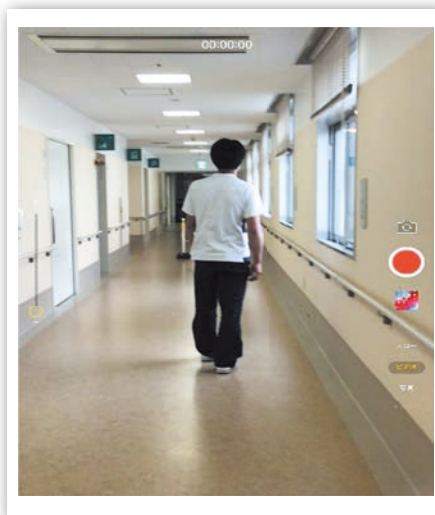
入院中の患者さまの様子を動画に撮影し、患者さまのご家族やケアマネージャー等と共有することを目的に、ICTを活用した退院支援及び医療・介護情報連携システム「見て～な」の運用を開始しております。

患者さまのプライバシー保護を厳重に図りながら、退院調整および介護サービスへの移行が円滑に進められるように活用しております。



～実際の画面を紹介～

動画を撮影します



IDとパスワードでログインし共有します



丹後圏域地域リハビリテーション支援センターのご紹介

「リハビリ」「リハ」は「リハビリテーション」の略語です。

地域リハビリテーションとは？

年齢や障害に関係なく、すべての人が住み慣れた地域でいつまでも元気に生活するための活動です。

相談に乗って欲しい

スポーツをしたい

旅行に行きたい

学校に行きたい

買い物に行きたい

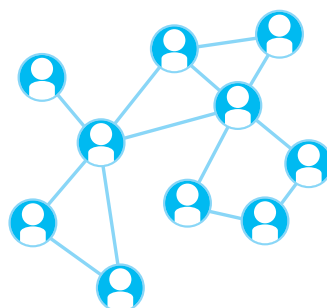
働きたい

同じ障害の方と知り合いになりたい

みんなで作る関係性（ネットワーク）がポイント！

地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行なう活動のすべてを言う。

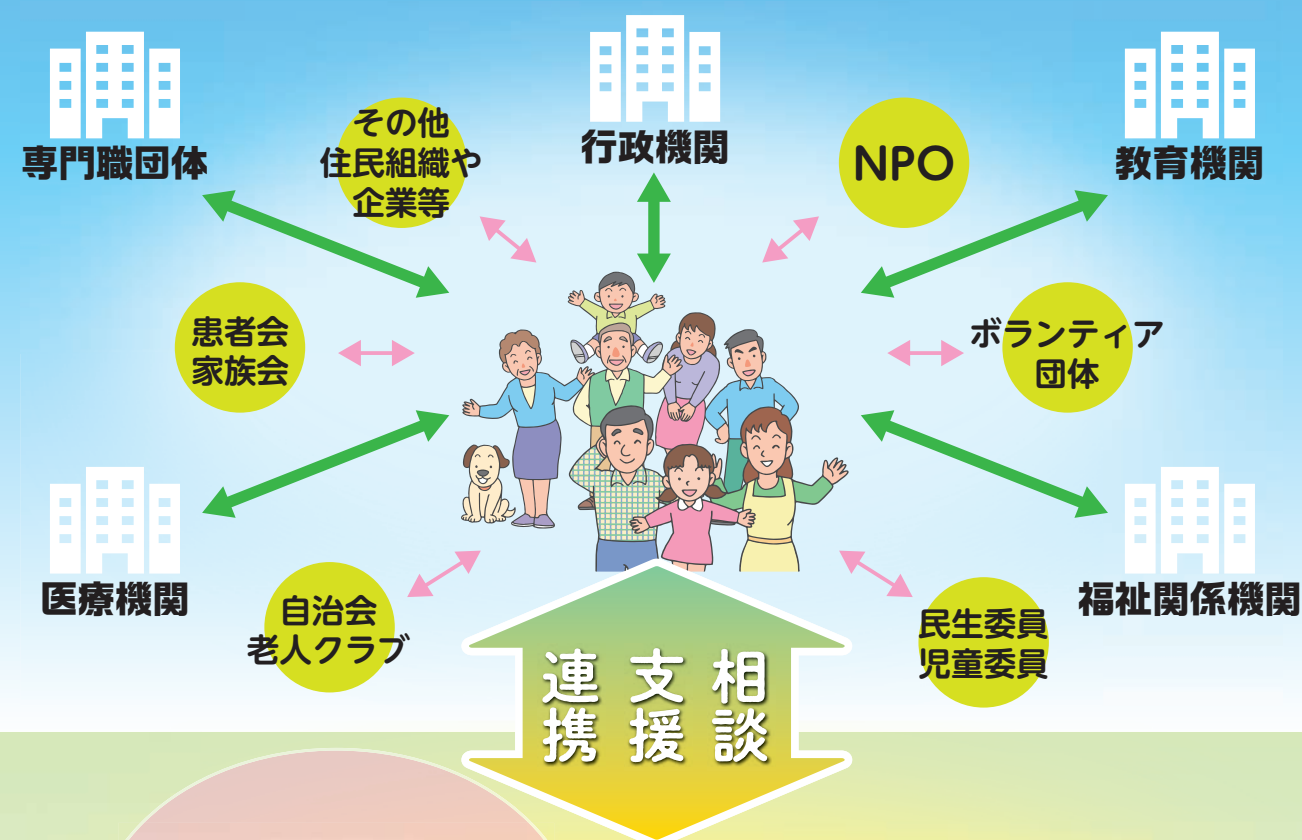
（日本リハビリテーション病院・施設協会 2016年）



丹後圏域の地域リハビリテーション支援体制は？

平成23年度に京都府より「丹後圏域地域リハビリテーション支援センター」として丹後中央病院が指定されています。

協力機関として、圏域内でセラピストが在籍している23施設があります。



丹後圏域地域リハビリテーション支援センターでは、リハビリテーションに関する相談・訪問指導（従事者支援）、研修会の開催、行政機関等への事業協力を行っています。

詳細は、下記のホームページをご参照下さい。

丹後圏域地域リハビリテーション支援センター



自動車運転再開支援について

近年、脳梗塞や脳出血等の病気（以下、脳卒中といいます）を患われた方の自動車運転による交通事故が数多く報告されています。脳卒中を患うと、手足の運動能力以外にも自動車運転を行う上で非常に重要となる「認識・注意・判断」といった能力が低下する危険があります。

平成26年6月に道路交通法が改正され、運転免許取得や運転免許の更新申請をする際に、「一定の病気（※）」に該当するかどうかを判断するために、質問票を交付することとなりました。

虚偽の回答や報告をした場合には罰則規定（1年以下の懲役または30万円以下の罰金）があります（同法第174条の4）。

※一定の病気には、脳卒中・認知症・てんかん等が含まれます

当院リハビリテーション科では、運転に支障が生じる可能性のある方の支援を行っておりますので、対象となる方は主治医または担当療法士にご相談ください。

対象者

以下のすべてに当てはまる方が対象です

- 脳損傷のある方（脳卒中、脳外傷等）
- 自動車運転免許を所持している
- 発症あるいは受傷後3ヶ月経過している
- 日常生活が概ね自立している
- 検査の内容や指示を概ね理解できる
- 公安委員会の定めた運転適性基準を満たしている
- てんかんの治療を行っていない



支援手順

※医療機関の役割は対象者の求めに応じて、公安委員会に提出が必要となる診断書を作成することや、運転に関して適切な指導を行うことです。**運転再開が可能かどうかは病院では判断できません。運転許可の判断は公安委員会（運転免許センター等）が行います。**

- 主治医が診察を行います
- 運転に関する身体機能や高次脳機能障害、運転技能等の評価を行います
- 検査結果を基に、主治医を含めた院内関係スタッフ間で協議します
- 主治医が検査の結果と今後の自動車運転の進め方について説明いたします
- 診断書の作成（必要に応じて）

警察署からの提出依頼に対して症状に関する診断書を作成します。

必要に応じて

- 自動車学校への取り次ぎ
より詳細な評価が必要な場合には自動車学校と連携し、実車にて評価を行います。